

会議名	第2回厚木市観光振興推進委員会
日時	令和6年10月21日（月）14時～15時
場所	アミューあつぎ6階 ルーム607
出席者	出席者 10人 厚木市観光振興推進委員会委員6人 オブザーバー1人（一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長） 事務局3人（商業観光課長、観光振興係長、商業観光課主査）

会議の経過は次のとおり。

1 開会

商業観光課長

2 案 件

(1) 令和6年度事業の実施状況について

資料1に基づき説明。

【意見等】

委員：「9 広域観光推進事業」のガストロノミーウォークについて、現時点で応募がある年齢層は。

オブザーバー：当該事業は厚木市観光協会が受託して実施するものである。昨年度は高齢者が多かったが、今年度は20歳代からの応募もある。距離は9.1km、観光ボランティアさんも付き添ってウォーキングしながら、各ポイントであつぎOECフードを楽しんでもらい、最後に温泉に入っただけだと考えている。

委員：元湯旅館まではウォーキングだが、帰りの交通手段はあるのか。

オブザーバー：帰りは本厚木駅までバスでお送りする。

委員：あつぎ鮎まつりの来場者数が290,000人とあるが、例年と比べた来場者数の推移は。

事務局：前年度比で約10,000人多い結果となった。今年度は旭町会場への誘導を強化した結果、来場者が各会場に分散してくれたと評価している。

(2) 令和7年度事業について

資料2に基づき説明。

【意見等】

委員：サイクルイベントを実施してはどうか。例えば、サイクリストのYouTuberを呼んでイベントに参加してもらったり、YouTubeに動画をあげてもらったりするのも面白いと思う。現在の厚木市はスポーツにも力を入れていることから、スポーツと観光を絡めたイベントも良いのではないか

事務局：アウトドアイベントの一環としてサイクルイベントを展開してきたが、ひとまず令和5年度で一区切りとしている。イベントについては時勢を捉えて検討したい。

委員：自転車関連の話の一つとして、最近、都内ではLUUP（ループ）という電動アシス

ト自転車と電動キックボードのシェアリングサービスが展開されている。平らな道が多い厚木市であれば、観光の要としても普段使いの交通手段としても、年齢を問わず普及できる可能性がある。

委員：近隣ではシェアリングサイクルを実施している自治体があると聞いているが、厚木市ではどうか。

事務局：サイクル関係については観光としても魅力的であるとともに、交通手段としても有用性があることは認識している。実用化については前向きに研究したい。

委員：飯山地域でもロードバイク利用者が増えていると実感している。商業施設にサイクルラックがあれば、お店に立ち寄るきっかけにもなるだろう。

委員：昨年度、秦野駅でスペシャライズドのe-Bikeを有料レンタルする実証実験を実施した。高価で購入しがたい自転車に乗れるということで、大変好評だったと聞いている。

委員：インバウンド推進事業に関して、厚木市が作成しているパンフレット等の多言語化の状況はどうか。

事務局：観光案内については英語表記のものがあり、厚木市ホームページも5言語対応済である。観光パンフレットやリーフレットについてはそもそも種類が多すぎるため、分野ごとに整理をし、スマート化してから検討したい。

(3) 観光振興に係る意見交換について

委員：あつぎ飯山桜まつりに開催時期に合わせて、飯山地域でイベント実施を考えている団体があると聞いている。来年の飯山桜まつりは、飯山観音長谷寺の1,300年祭も兼ねているため、別時期での開催にしてもらいたいと考えている。

事務局：市では未確認の情報のため、情報が入った場合はイベント団体の方へ意向をお伝えする。

3 その他

第3回会議は2～3月に実施を予定している。

4 閉 会